

第3学年 学年通信 自己探求・自己錬磨・自己実現 ～自分だけの正解を探して～

第33号 令和3年12月10日（金）

私が今よりもまだ若くて細くて駆け回っていた30代前半の頃、担任した3年生の話です。就職と進学が半々のクラスで、そのうち6人が国公立大学を希望しました。商業や工業などの専門高校からもその専門分野の学部へ進学しやすいように、大学には「専門高校枠推薦」というのが設けられています。とはいえほとんど全国枠ですし、大人数を募集するわけではありません。6人の中には、この枠を使えない学部への進学を希望する者もありました。

調査書や推薦書が手書きだった時代です。インターネットが現在のようにスイスイ活用できるわけもなく、先輩の先生方のお知恵を拝借しながら、生徒達と毎日遅くまで必死に対策を練りました。運良く第1志望で合格を勝ち取ることができたのは5人。不合格だった彼女の心境は、同じ受験生の皆さんなら想像に難くないでしょう。彼女は一般入試で普通科の生徒に混じって競わねばならなくなったわけですから。

ただ、この日々の中で彼らに不思議な連帯感が生まれていました。5人は、彼女の受験が終わるまで2月の自宅学習期間も自発的に学校へ来て、一緒に勉強したのです。結局、彼女は国立大学には受かりませんでしたが、私立大学へ進学を決めることができました。

受験先は違ってもみんな一緒に戦ってるんだ、という一体感が「受験は団体戦」という言葉で語られがちですが、私は雰囲気作りだけの話ではないと思います。個としての実力を確立できた者同士が団結することで、団体として最高のパフォーマンスを発揮できるという経験は、チームで戦う部活動に参加してきた人なら分かるでしょう？一人ひとりの実力が乏しいのに、気合いだけで団体戦で勝てるのでしょうか？つまり、ともに苦悩し、喜び合い、励まし合う「切磋琢磨」があってこそその「受験は団体戦」ではないのかと思うのです。前述の6人は、そういう意味では間違いなく団体戦を行っていました。高校の名を背負って進学する自覚を持ち、普通科から進学してくる同級生に馬鹿にされたくない！と各自が努力し、お互いを高め合っていたのですから。

今から本番を迎える皆さん。不安はあって当たり前。くじけそうになったら「今〇〇もやってるだろうな」と友達の姿を思い浮かべて、負けないように頑張ってください。応援しています！

合格した皆さん、おめでとう。合格を知った時の喜びと周りへの感謝の念を、ぜひ今から戦う仲間達へ繋いでください。そのためにも、「みんなで戦っているんだ」と心強く思えるような団体にすることを意識してほしいと強く願います。ちなみに、我々職員も団体の一員です。こちらのモチベーションにも気を遣ってもらえると嬉しいですね。

【週行事予定】 12/10（金）～12/25（日） ※学校行事は3年生関係分

月	日	曜	行事予定	課外	備考
12	10	金	成績確認票配布	◎	7:25 登校
12	11	土	土曜講座 A 合勝うどん(体育館)	—	8:15 登校
12	12	日			
12	13	月	教科会 16:20- 学年会 16:35-	○	7:25 登校
12	14	火	派遣委員会 VI 16:20-	◎	7:25 登校
12	15	水	※清掃カット	○	7:25 登校
12	16	木		◎	7:25 登校
12	17	金		◎	7:25 登校
12	18	土			
12	19	日			
12	20	月	①～⑤授業 ⑥防災教育講演会 ⑦防災職員研修会 ※清掃カット	○	7:25 登校
12	21	火	①～⑥	○	7:25 登校
12	22	水	①～⑥	○	7:25 登校
12	23	木	①～⑥	○	7:25 登校
12	24	金	終業日 進路内定者集会 16:00-(3年)	—	8:15 登校
12	25	土			

【新型コロナウイルス感染症の対応について】○毎日の検温を欠かさず、健康管理に留意すること！ ○マスク着用の徹底！